

教科(科目)	公民（公共）	単位数	2単位	学年(コース)	1学年
使用教科書	高等学校 公共（帝国書院）				
副教材等	高等学校 公共ノート（帝国書院）				

1 学習目標

人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

2 指導の重点

進学・就職等希望者が多岐にわたっていることや、成人年齢の引き下げを考慮し、

①公民としての資質・能力を養うために必要な知識や技能を身につける。

②公民としての自覚を養うため、現代の諸課題について、主体的かつ多面的に考える姿勢を養う。

3 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
選択・判断の手掛かりとなる概念や理論、及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解しているとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論している。	国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

4 評価規準と評価方法

評価は次の観点から行います。			
	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
評価の観点	選択・判断の手掛かりとなる概念や理論、及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解しているとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論している。	国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。
評価方法	定期考査の成績や授業プリントの内容をもとに評価する。	定期考査の成績や授業プリントの内容をもとに評価する。	授業プリント内の振り返りシートの内容や授業態度などをもとに評価する。

5 学習計画

月	単元名	授業時数 と領域	教材名	学習活動(指導内容)	評価の 観点	評価方法
4	青年期と 社会参画	6時間	1 私たちの生きる現代社会 2 青年期について考えよう 3 悩むことについて考えよう 4 ジェンダーについて考えよう 5 学ぶことについて考えよう 6 社会参画とキャリアについて考えよう	・自らの体験等を振り返ることを通して、自らを成長させる人間としてのあり方・生き方について理解している。 ・集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現している。 ・公共的な空間としての社会に、主体的に関わろうとしている。	a b c	授業態度 発問評価 ワークシートの提出、内容 定期考査、小テスト 振り返りシート
5	宗教・思想・伝統文化と社会	3時間	1 宗教について考えよう 2 日本の思想について考えよう 3 日本の伝統と文化について考えよう	・自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができる。 ・様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現している。 ・公共的な空間における課題の解決を視野に、主体的に社会に関わろうとしている。	a b c	授業態度 発問評価 ワークシートの提出、内容 定期考査、小テスト 振り返りシート
	倫理的な見方・考え方	5時間	1 よく生きる古代ギリシャの思想 2 人とは何か古代中国の思想 3 動機と結果近代西洋の思想 4 公平と正義現代の思想	・人間としてのあり方・生き方に関わる諸資料から、よりよく生きるために必要な情報を収集し、読み取る技能を身につけている。 ・倫理的価値の判断において、自らも他者も共に納得できる解決方法を見いだすことに向け、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、人間としてのあり方・生き方を多面的・多角的に考察し、表現している。 ・公共的な空間における人間としてのあり方・生き方について、現代社会の諸課題の解決を視野に、主体的に社会に関わろうとしている	a b c	

6 7	社会の基本原理と憲法の考え方	9時間	1 近代立憲主義の原理 2 近代立憲主義の広がり 3 日本国憲法 4 平等に生きる権利 5 自由に生きる権利① 6 自由に生きる権利② 7 人間らしく生きる権利 8 広がる人権の考え方 9 人権保障の国際的な広がり	<ul style="list-style-type: none"> ・人間の尊厳と平等，協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが，公共的な空間を作るうえで必要であることについて理解している。 ・公共的空間における基本的原理について，思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して，個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し，表現している。 ・公共的空間における基本的原理について，日本国憲法を踏まえて現代の課題の解決を視野に，主体的に社会に関わろうとしている。 	a b c	授業態度 発問評価 ワークシートの提出、内容 定期考査、小テスト 振り返りシート
7	法の意義と司法参加	7時間	1 社会規範と法 2 私たちの生活と法 3 契約の考え方 4 消費者の権利と責任 5 司法の役割 6 刑事裁判とその課題	<ul style="list-style-type: none"> ・現実社会の事柄や課題を基に，憲法の下，適正な手続きにのっとり，各人の意見や利害を公平・公正に調整し，個人や社会の紛争を調停，解決することなどを通して，権利や自由が保障，実現され，社会の秩序が形成，維持されていくことについて理解している。 ・自立した法的主体として解決が求められる具体的な主題について，合意形成や社会参画を視野に入れながら，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現している。 ・法や規範の意義および役割，多様な契約および消費者の権利と責任，司法参加の意義などに関わる課題の解決を視野に，主体的に社会に関わろうとしている。 	a b c	授業態度 発問評価 ワークシートの提出、内容 定期考査、小テスト 振り返りシート

9	民主社会と政治参加	7時間	1 政治と権力 2 議院内閣制と国会 3 権力分立と行政の役割 4 地方自治の役割 5 政党政治とメディア 6 選挙制度とその課題	<ul style="list-style-type: none"> ・政治参加と公正な世論の形成，地方自治などに関わる現実社会の事柄や課題を基に，よりよい社会は，憲法の下，個人が議論に参加し，意見や利害の対立状況を調整して合意を形成することなどを通して築かれていくものであることについて理解している。 ・自立した政治主体として解決が求められる具体的な主題について，合意形成や社会参画を視野に入れながら，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現している。 ・政治参加と公正な世論の形成，地方自治等に関わる課題の解決を視野に，主体的に社会に関わろうとしている。 	a b c	授業態度 発問評価 ワークシートの提出、内容 定期考査、小テスト 振り返りシート
10 11	国際政治の動向と平和の追求	8時間	1 国家と国際法 2 日本の主権と領土 3 平和主義と日本の防衛政策 4 これからの日本の安全保障 5 国際連合の役割と活動 6 紛争とテロリズム 7 核兵器と軍縮の課題 8 国際協力と日本の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・主権，領土，日本の安全保障，国際貢献を含む国際社会における日本の役割などに関わる現実社会の事柄や課題を基に，よりよい社会は，憲法の下，個人が議論に参加し，意見や利害の対立状況を調整して合意を形成することなどを通して築かれるものであることについて理解している。 ・自立した政治主体として解決が求められる具体的な主題について，合意形成や社会参画を視野に入れながら，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現している。 ・主権，領土，日本の安全保障，国際貢献を含む国際社会における日本の役割等に関わる課題解決を視野に，主体的に社会に関わろうとしている。 	a b c	授業態度 発問評価 ワークシートの提出、内容 定期考査、小テスト 振り返りシート

